

摩耗痕試験

試験機による摩耗度の違い

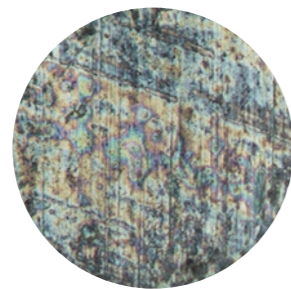
荷重試験機で一般的なエンジンオイルとベルハンマーライトを10%添加したエンジンオイルによる摩耗痕テストを行いました
 一般的なエンジンオイル(画像左)はキメが粗く、引き裂かれた摩耗痕が見受けられます
 一方、ベルハンマーライトを10%添加したエンジンオイル(画像右)はキメが細かく、摩耗痕も少ないという結果が得られました



荷重試験機



一般的なエンジンオイル



ベルハンマーライト

※同倍率画像

BELL HAMMER Light 仕様概要

| | |
|-------------|-------------------|
| 内 容 量 | 260ml |
| 成分及び含有量 | 鉱油・減摩剤 |
| 種 類 及 び 型 式 | ボトル容器 |
| 用 途 | 軽自動車専用 エンジンオイル |

第4類第4石油類 危険等級Ⅲ

~ ベルハンマーシリーズのラインナップ ~



LS BELL HAMMER



BELL HAMMER



LS BELL HAMMER HS No.11



H1 BELL HAMMER



ベルハンマーライトの
商品ページは
こちらから⇒



BELL HAMMERシリーズの製品は、
スズキ機工(株)オンラインSHOPにてご購入できます。

ベルハンマー

●製造販売元

スズキ機工株式会社
〒270-2214 千葉県松戸市松飛台316-3
TEL: 047-385-5311 FAX: 047-385-5313
E-mail: info-new@suzuki-kikoh.com

Create the Imagination
SUZUKI KIKOH
www.suzuki-kikoh.com



BELL HAMMER

軽自動車専用
エンジンオイル添加剤



Light

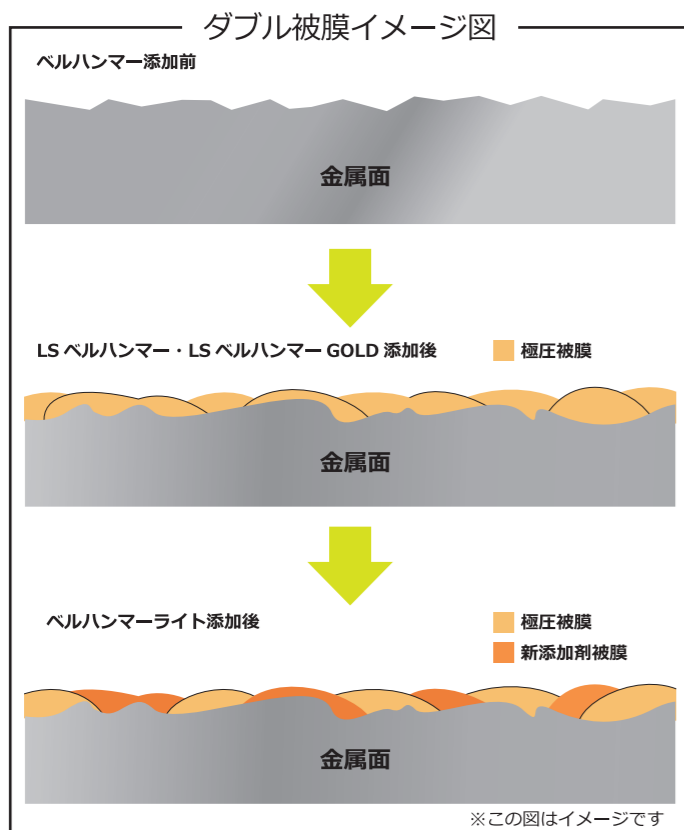


Debuted in 2021

特長

軽自動車専用

エンジンオイル添加剤
ベルハンマーライトの
主な効果



- ☆エンジン・レスポンス向上
- ☆異音・振動の減少
- ☆エンジン寿命の延命
- ☆ドライスタート時のエンジン保護

●ベルハンマーを添加していない金属表面ノーマルオイルのみ添加した状態のエンジン内部の金属面イメージ図です

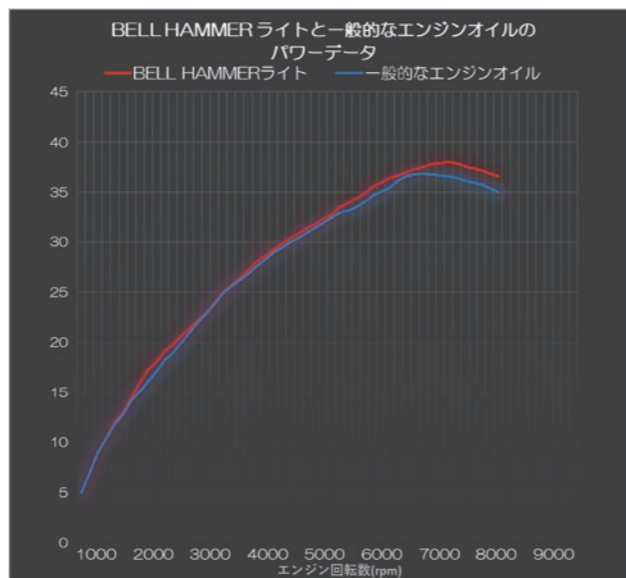
●LS ベルハンマーを添加した金属表面LS ベルハンマー原液のEP(極圧剤)が作用し金属表面に極圧被膜が形成、しかし被膜形成の持続力が課題でした・

●ベルハンマーライトのダブル被膜イメージ図新配合の有機モリブデン系添加剤とEP(極圧剤)が相乗効果を発揮することで、金属表面の摩擦低減と保護・延命を今までにないレベルで実現します!

試験車にベルハンマーライトを添加してどう変化したか
パワーデータを取りながら、一般的なエンジンオイルと比較検証しました



- 試験ドライバーからのコメント
- ・エンジン始動時からアイドリングが静かで安定している
 - ・いつもと同じ加速をさせるのにアクセルの踏み方が緩く済み、燃費向上に繋がっている
 - ・エアコンを使用しても出力が下がらない
 - ・加速時、吹き上がりが良い (レスポンスが良い)



このグラフはベルハンマーライトを試験車に添加前と添加走行後に計測したデータです

最高の出力 UP には正直驚きました
走行距離の多い車なので出力の差が大きくなったと考えられます

※結果は車両のコンディションや環境によって数値に差が出ます

燃費試験

ベルハンマーライト添加前と添加後で燃費がどう変わるのか?
同一条件にて約 240km 街乗りテストをしました
添加前は燃費が 12.1km/L、
添加後は燃費が 14.5km/L に
燃費が 2.4km/L・約 20% アップしました



燃費
2.4km/L UP!!
約20%UP!!

※燃費試験は車両のコンディションや環境によって数値に差が出ます

使用方法

使用順序

1. エンジンを止めてオイルフィルターキャップを開ける
2. 本品を注油口から 1 本全量を注ぐ **火傷に注意!**
3. 注油後オイルフィルターキャップを締め、5 分程度のアイドリング後、オイルの量が適正範囲内であることをレベルゲージで確認
この時オイルゲージの上限と下限の間にオイルが入っていれば OK

使用量

エンジンオイル量 2.5~3.3L に本製品 1 本の割合で添加
(エンジンオイル量の **5~10%** が添加量の目安)

添加サイクル

エンジンオイル交換ごとの添加を推奨

注意事項

- ・注油の際、水やゴミが入らないようにする
- ・他の添加剤と混合禁止・本品を一度で使い切る
- ・**湿式クラッチのバイク等のエンジンオイルへの添加は絶対にしない**
- ・ブレーキやクラッチなど摩擦で動作を制御する箇所には絶対に使用しない
- ・2サイクルオイルの代わり及び添加剤には使用しない
(オイルが分離し、2サイクルオイルがエンジンに供給されない可能性有り)
- ・ディーゼルエンジンへの添加は推奨しない



パワーデータ検証